

ロータリー一月間

今月：ロータリー親睦活動

来月：

6月23日ハイブリッド例会

『一年回顧』

本日のプログラム「一年回顧」 《田所会長挨拶・一年回顧》



皆さんこんにちは。梅雨入りしましたが、過ごしやすい陽気が続いています。アジサイロードの紫陽花も見ごろを迎えています。市立図書館入口前のツツジの植栽の中にあるハマナスも、赤紫の花と白い花が見ごろになっています。ハマナスは、以前は高萩の海岸に数多く自生していたようです。高萩市民の歌の2番には、「咲いたはまなす 夢呼ぶ花よ 香り高萩 ほら つつんでる」と歌われています。そのハマナスも、現在では図書館前や松久保工業団地の中にある「海浜休養地」等、数か所で見られなくなっていました。身近な自然環境を大事にして行きたいものです。今年度の例会も、最後から二回目となりました。一年間の皆様のご協力ありがとうございました。今年度は記念すべき創立50周年を迎えた年度でしたが、コロナウイルス感染症対策に活動を制約されながらも、何とか一年間やり通す事ができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

本日の例会プログラムは、一年回顧です。この一年間の活動を振り返ってみたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。また、次年度のプログラム案も作成いたしましたので、検討していただき、次年度に向けての準備もよろしくお願いいたします。

○一年回顧

会長挨拶でも申し上げましたが、今年度一年間の活動を振り返ってみたいと思います。ベテランでフットワークのよい小森パスト会長からバトンを引継ぎ、7月1日の第1例会から会長の務めが始まりましたが、初めての理事会、初めての例会をつつがなく終了したときは、一安心しました。会長の方針と計画をつくり、例会や活動を通してそれを実行し、会員の皆さんの期待に応えるため、これまで精いっぱい努力してきたつもりでございます。新型コロナウイルスの影響により様々な制約がある中でも、皆様のご協力により、ガバナー公式訪問、50周年記念事業、50周年記念例会を、何とか無事に、成功裏に実行することができました。感謝申し上げる次第です。6月には一旦、新型コロナ対策の移動の自粛要請が緩和されたのですが、7月の下旬には、また第2波が始まる気配となり8月を迎えました。

月 日	プログラム	担 当	5月12日 出席報告		
			会員数	出席者	欠席者
6月30日	年度末例会	親睦活動・家族委員会			
7月7日	新年度方針	会長・五大奉仕委員会	33	17	13
7月14日	委員会方針	各委員会	出席率：100%		
7月21日	委員長方針・100%出席者表彰	各委員会・出席委員会・	前々週訂正：100%		

事務所：〒318-0033 高萩市本町 2-65
常陽銀行高萩支店内 TEL/FAX：0293-24-0505
■URL <https://www.takahagirc.jp>

会 長：田所 和雄
幹 事：大河原 浩
例 会：毎週水曜日 12:30～13:30

■E-Mail : takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

公共イメージ委員: 石 君平 和田昌也 小森勇一 大高司郎
棚谷 稔 石 平光 今川 隆 大平敏明

四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

そして年末にはまた、第3波が襲来しました。その様な中で、例会や事業を進めて行くのにはそれなりの苦勞もありました。

クラブの基本方針の1として、「ロータリーは機会の扉を開く」のテーマを実践し、活力のあるクラブを目指す。2として、奉仕と親睦の両輪を大切にし、友情とロータリーの心を育む。としましたが、例会や奉仕事業において、外部との交流の機会がもちにくく、出会い、知り合いを広める無限の機会への招待というわけにはいきませんでした。また、親睦を深める夜の例会は、年度末の懇親会を繰り延べた7月の例会1回のみで、納涼例会、観月例会、忘年例会、観桜例会ともに中止せざるを得ませんでした。また、北茨城RC合同例会、第1分区のIM、3団体合同例会も中止となり、対外的な交流の機会も持つことができませんでした。交流の場に期待している皆さん、夜にしか出席出来ない皆さんには期待外れのところがあつたことと思います。

それでも例会については、会場監督と担当の皆様のご協力により、感染症対策を講じつつ、魅力ある例会を実施できたと思います。これまでの例会を振り返ってみたいと思います。

7月第1例会は、緊張の中に新会長としての挨拶、会長・幹事のバッジの引継ぎ。新年度方針の発表がありました。第2例会は、各委員会の今年度の方針を発表していただきました。第3例会は、丑の日の「鰻重」を食べて、100%出席者表彰。表彰者は14人もいました。素敵な賞品が授与されました。第4例会は、鈴木啓志実行委員長代行担当で50周年記念事業についての打ち合わせと、前年度の小森会長と今川幹事を慰勞する懇親会でした。この例会で、記念事業、記念例会の大枠が決定し、2月以来の懇親会で久々に盃をかわし、楽しい時を過ごしました。第5例会は、前年度決算・本年度予算についてでした。会計・事務局・幹事が完璧なので、一部訂正をし、承認を受けました。

8月第1例会は、地区の会員増強委員長、石井浩一様をお迎えして、会員増強についての出前卓話。とても良いお話でした

お盆休みの後、19日の納涼例会は、新型コロナウイルスの感染症対策のため、やむなく中止、休会としました。

9月の定例理事会、第1例会において、10月25

日の創立50周年記念式典は中止とし、「50周年記念例会」として、招待者なしで、会員のみで開催することに正式に決定しました。また、大河原幹事の尽力により素晴らしい「クラブ現況報告書」が完成し、9月30日のガバナー公式訪問の準備も整いました。また、9月には、花貫川、「あじさいロード」の草刈り、ツタと花ガラの刈り取りをし、きれいに整備しました。

9月中旬には、横倉稔明会員のご協力により、記念事業の「ポリオ根絶の看板」の設置場所が、「やすらぎドーム、安良川西交差点」に決定しました。そして、鈴木国男、記念事業委員長の素早い采配により、記念例会前の10月20日に看板の除幕式を挙行することができました。

また、9月、10月、11月には、新入会員の皆さんにイニシエーションスピーチをしていただきました。大平敏明会員、滝徳宗会員、佐々木聡会員、橋本義隆会員の皆さんご苦勞様でした。皆さんそれぞれにユニークで楽しい卓話でした。

9月30日には、池田正純ガバナー、茂木博男ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問がありました。段取りとスケジュールについては、大河原幹事が綿密に作成し、準備については、ベテラン会員の皆さんが手際よく進めてくれました。事業を進める時の会員の皆さんの協力体制は我がクラブのとても良いところだと思います。例会出席者は、22名でした。ガバナーには、花貫川の「あじさいロード」を視察していただき、例会では、50周年記念行事として、米山記念奨学会とロータリー財団への寄付金を預かっていただきました。ガバナーからは、熊本県への災害寄附金のお礼があり、地区のバッジを全員にいただきました。卓話は、1月に米国サンディエゴで開催された国際協議会の説明がありました。また、国際ロータリー目標の説明と地区スローガン・地区目標の説明がありました。その中で、特に、環境問題への取り組みとクラブ戦略会議の開催の要望がありました。

10月の例会は、会員増強フォーラム、公共イメージ向上についてのプログラムで行いました。また、公共イメージ向上については、前年度からの継続で、今川会員を中心に、たかはぎFMにおいて、4月から12月までに9回にわたり、高萩ロータリークラブ情報館の放送をしており、ホームページにもアップしています。この取り組みは、クラブの

新しいイメージ向上につながっていると思います
10月25日には、会員29名の参加により、高萩ロータリークラブ創立50周年記念例会を開催することが出来ました。この例会は、上田良三実行委員長を初めといたします「創立50周年記念事業実行委員会」の皆さんのご尽力によるものです。鈴木啓志実行委員長代行には、記念事業全般について、精力的に取り組んでいただき、石君平総務委員長を始め、各委員会の皆さんにはそれぞれの部門で、活躍をいただきました。そして、当初計画した記念事業を達成することができました。記念事業については、①「ポリオ根絶看板設置」については、横倉稔明会員のご協力をいただき、「やすらぎドーム、安良川西交差点」の国道沿いに設置することができました。②小中学校への図書(米山梅吉ものがたり)の贈呈、③ロータリー財団、米山記念奨学会への寄付、についても計画どおり完了しました。

小森年度の時から、記念誌編集委員会の小森勇一委員長を中心に企画・編集に取り組んでいた「創立50周年記念誌・50年のあゆみ」が、11月27日に完成し、会員の皆さん、関係各位への配布を完了いたしました。

50周年記念事業並びに50周年記念例会が成功裏に実行出来ましたことは、高萩ロータリークラブの大きな礎になるものと思います。

今年度の対外的な奉仕事業は、コロナウイルスの感染拡大により、少年柔道大会、萩っ子英語プレゼンテーション大会が、開催中止となりましたが、鈴木直登職業奉仕委員長を中心に取り組んでいます中学校対象の「出前講座事業」は、感染症対策をした上で、第1回目を松岡中学校で実施することができました。また、職業の現場を紹介するビデオを作成し、市内3中学校へ配布し、奉仕活動を進める事ができました。

12月2日の年次総会におきまして、鈴木直登次年度会長を初めといたします次年度のクラブ役員・理事の皆さんが選出されました。次年度のクラブ体制が決まり、次年度につながることが出来ました。悔やまれることは、これまで28年以上にわたり、クラブでご活躍をいただきました石川武信様が、12月に急逝(きゅうせい)された事でございます。10月までは、公私両面とも、元気に活動されておりました石川様が急逝(きゅうせい)されたことは、痛恨の極みでありました。石川

様のご冥福をお祈り申し上げます。

また、私たちも、自らの健康にこれまで以上に強く留意するようにと、示唆された気がいたします。なお、石川様のご逝去により、理事に欠員ができたため、社会奉仕副委員長の小谷松政紀さんが理事に就任することになりました。

年が明け、1月の年頭所感では、まずもって、私たち会員一同がこの一年を健康で過ごし、元気に活動できること。例会で顔を合わせる時も、会の事業をする時も、仕事をする時も、皆さんが、健康で、明るく元気であることを希望いたしました。1月からのクラブの活動については、更なる新型コロナウイルス対策を講じる必要が出てきました。昨年4月、国が緊急事態宣言を発出していた時、我がクラブでは、例会を休会にしておりましたが、その当時の日本国内の1日の感染者数は、最大でも700人程度でした。その後6月末頃までは、1日の感染者数は100人未満の日が続いていました。ところが、本年の1月5日の1日の感染者数は、これまでの最多で、4,900人を超えました。国では、これ以上の感染拡大を防ぐため、7日には、緊急事態宣言を発令しました。

その様な状況において、コロナウイルスの感染対策を最優先することが、どうしても必要となりました。「高萩RCの新型コロナウイルス感染対策について」のガイドラインを厳格に遵守(じゅんしゅ)して、例会、並びにその他の活動をしていくことが必須となり、会員ならびに来訪者・関係者の皆様の「健康・安全・安心」を最優先しての活動となりました。下半期の2回目の例会、北茨城RCとの合同例会が中止になりました。23日の第1分区インターシティー・ミーティング(IM)については、日立北RCの実行委員会で中止という最終判断に至りました。また、外部の人と集団で接する事業等を行うことが困難となり、職場訪問例会、外部卓話も中止となり、1月の例会は、1回のみとなりました。2月からは、ZOOMを使ったオンラインで例会を開催しました。オンライン例会では、大高さんにZOOMのホスト役とSAAを担当していただき、会場での例会と同様に、参加者の顔を見ながら臨場感のある協議会が出来ました。17日の例会には、池田正純ガバナーにもご参加いただき、国際奉仕についての卓話をいただきました。24日の例会では、2月23日のロータリー創立記念日にちなんだ例会を行いま

した。3月第1例会からは、例会をハイブリッド例会といたしました。例会場への出席、オンラインでの出席どちらでも可能といたしました。第1例会は、米山記念奨学生、周培(しゅうばい)さんの卓話でしたが、中国の日常生活や教育環境等について有意義なお話を伺うことが出来ました。第2例会は、会員満足度アンケート調査。第3例会は、水と衛生について。第4例会は、高萩・自然を訪ねての卓話。第5例会は、長久保赤水関係資料の重要文化財指定記念で、長久保赤水顕彰会会長の佐川春久様の卓話をいただきました。4月第1例会は、鈴木直登会長エレクトの『RETS報告』。第2例会は、長久保赤水についての理解を深める例会。第3例会は、年度計画達成状況報告。第4例会は、地区クラブ奉仕総括委員長の大高司郎さんによる『MY ROTARYの活用について』でした。連休明けの5月第1例会は、地区補助金申請事業についての例会で、FMラジオで子供たちの英語スピーチを放送するという次年度のプロジェクトが進行しています。第2例会は、地区研修協議会出席報告で、オンラインで研修を受けた次年度委員長の皆さんから次年度の委員会の取り組みについてお話をいただきました。5月23日(日)は、第2820地区の地区大会でした。つくばのノバホールへの出席は、会長・幹事と地区総括委員長の3人だけでしたが、会員の皆さんは、月乃家の例会場で、YouTubeによる実況中継を見て、参加いただきました。変則的ではありましたが、地区の活動の総まとめとして開催できたことは良かったと思います。また、「茨城海岸美化プロジェクト」のパネルディスカッションでは、次年度の海岸美化活動と地球環境保全についての理解が深まりました。6月第1例会は次年度計画・プログラムフォーラムで、鈴木直登会長エレクトから、クラブの年度計画のお話しと、次年度プログラム雑誌委員長の私から、次年度前半の12月までのプログラム案を提示いたしました。後半の1月から6月までのプログラム案につきましては、本日、皆さんのお手元に配布しておりますので、ご意見等がありました連絡をお願いいたします。第2例会は、『高萩ロータリークラブ戦略計画』についての例会でした。会員満足度アンケート調査の集計結果を基に、4回の委員会開催を重ね、見直し案を作成し、理事会をへて、鈴木直登委

員長から例会に提示されました。また、例会には、第一分区の本年度ガバナー補佐、茂木博男様、次年度ガバナー補佐、鈴木稔様のお2人にご来訪いただきました。前回の第3例会は、『委員長の次年度への引継ぎ』でしたが、まず当初に、鈴木直登クラブ戦略計画委員長より前回提示したクラブ戦略計画について、異議がないことを確認し、出席会員全員一致を持って承認されました。また、各委員長から、本年度の取り組みと次年度への引継ぎが報告されました。こうしてみますと、下半期についても、例会はほぼ全て、この月乃家さんの会場での例会になりました。この会場での例会で、如何にして充実した、ためになる、楽しい、魅力ある例会を実施して行くか課題でありましたが、精いっぱい頑張ったつもりです。ただ、例会の出席率が低かったことが大きな反省点であります。また、これからも継続して、例会のオンライン化を進め、会場に来られない会員も、リモートでの出席が可能にすべきだと思います。基本計画に取り上げた事業で、達成できなかった事業がまだまだありますが、一生懸命取り組んだことに免じて、ご容赦願いたいと思います。この一年間、大河原幹事、50周年実行委員会の皆さん、大高クラブ管理運営委員長を初めといたします各委員長の皆様、そして、事務局の坪和さんにもたいへんお世話様になりました。会員の皆さんのご協力に感謝を申し上げまして、私の一年回顧といたします。

《大河原幹事・一年回顧》



一年回顧ということで、最終例会を残し、私の幹事としての任期も残すところあとわずかとなりました。やっと退任の日を迎えることができ、内心ほっとしているところです。2020年7月の新年度スタートから、今日まで、あっという間に過ぎた1年だったように思います。新型コロナの対応でクラブ活動が色々と制限される中において、田所年度が無事に終わられるのも、お支えいただきました、理事・役員・委員長・事務方、皆様のおかげです。改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。思い返すとスタート当初からコロナ対応ありきの一年で、大変な一年だったと

思います。その様な中でも、上期においてはガバナー公式訪問、50周年記念例会、創立50周年記念誌を刊行することができました。

また、下期においては、例会のハイブリット化を本格化させ、オンラインによる例会参加が可能となりました。特に2月には、池田ガバナー、山崎パストガバナー、石井地区増強委員長がオンラインで参加されて、国際奉仕についてガバナー卓話をいただきました。お客様が3名同時に違う場所から例会に参加…今では当たり前の光景ですが、私個人的には、新たに、例会の可能性が広がったと感じた瞬間でした。その上で、他のクラブを見てみますと、コロナの影響で例会自体開催していないクラブがある中で、我が高萩ロータリークラブは、例会を開催し続け、クラブ活動を継続し続けました。例会場を変えて、オンライン例会を取り入れてと…コロナ過に、柔軟に対応し、例会運営を続けてきたことは、自信を持って良いところなのだろうと考えています。会員満足度アンケートにはプログラムのマンネリ化など、クラブとして改善すべき点がいくつか挙げられておりますが、いやいや、それにしても高萩ロータリークラブは周りと比べたら、意外に柔軟なクラブ運営をしてきたクラブなんだよなと…あらためて考えています。一方で、今年度は、懇親会活動が全て中止になり、親睦活動がほとんど出来なかった年でした。次年度に向けては、コロナ過が明け次第にはなるとは思いますが、今年度の分も取り返す形での親睦活動がもてたらと良いなと個人的に思っています。また、会員増強も目標を達成できなかった分、次年度で取り返す、そうできたらと考えており、協力していきたいと考えています。最後になりますが、この大変な一年を乗り越えられたのも、田所会長を初め、理事・役員・委員長・事務方、皆様のおかげです。いま一度お世話になりました皆さんに心からお礼を申し上げて、退任の挨拶とさせていただきます。1年間、ありがとうございました！

《幹事報告》

- 1、クラブ奉仕委員会「出前卓話」実施の案内が届く
- 2、地区協議会のプログラムが届く
- 3、環境保全プロジェクト 賛助金振込のお願いが届く
- 4、高萩市市民憲章推進協議会より、総会議案

書が届く

- 5、高萩ライオンズクラブより、次年度のパンフレット？が届く

《地球環境保全プロジェクト・大高司郎会員》



国際ロータリー第2820地区「茨城海岸美化プロジェクト」2021年9月12日、地区内4海水浴場において茨城海岸美化プロジェクトが開催されます。同時に、同日午後、日本国内全域の地区と世界530地区を巻き込んだ、地球環境保全プロジェクトのセレモニーを開催します。このプロジェクトは2021年国際協議会において新井DGが提案し、メータRI会長、三浦ガバナー会議長の他、多くの国の同期ガバナーが賛同して実現するものです。



国際ロータリー第2820地区
茨城海岸美化プロジェクト



Rotary

新井和雄ガバナー 2021-2022年度 第2820地区

地区スローガン
Think Globally, Act Locally
「地球の未来を思い 地域社会に貢献しましょう」

地区目標
「持続可能な発展に資する奉仕活動の推進」

ロータリーの新しい重点分野「環境保全」の推進
…海洋マイクロプラスチック汚染防止活動
…海岸、河川、湖、里山の環境保全活動 etc...



《会員基板向上セミナー：福田文乃会員》



6/20(日)にWeb参加しました。その中で
①ガバナーエレクト新井和雄様が2820地区の会員目標を2000名にしたい
②当クラブのクラブ総

括委員長の大高司郎より、地区の現状と課題についての講話「2820 地区を世界一の地区に」

③星野幸子委員長より各クラブにおいて 5 年後の未来を考え、コミュニケーションを深め、多様な例会を作り、元気なクラブにしていく。又、次年度へ円滑な引継ぎをお願いした。

④地区ロータリーコーディネーターの菅原様の講演「ロータリーで得るもの、得たもの」では多種多様な会員との付き合いにより世界を拓げる。若い会員に役割、出番、居場所を作ることにより、クラブの発展、成長へと繋がっていく。

【メイクアップ】

6/19 第2回茨城海岸美化プロジェクト打合せ会 大高司郎

6/19 RAC 21-22 年度 地区協議会
大平敏明

6/20 地区会員基盤向上セミナー
大高司郎、鈴木直登、福田文乃

【ニコニコBOX】

田所和雄さん：6 月から始めた、早寝早起きの習慣が身についてきました。毎朝、ウォーキングとラジオ体操をしています。

大河原浩さん：一年間お疲れ様でした。次年度も頑張りますのでよろしくお願ひします。

小森勇一さん：田所年度の 1 年間ごくろうさまでした。コロナ禍の 1 年たいへんでした。

鈴木直登さん：「ポリオがゼロにならない。増加している」由の新聞記事を読んだ。医療のむずかしさを改めて考える。

棚谷稔さん：田所年度も残すところわずかですね。大高司郎さん：コロナ接種券が届きました！

大平敏明さん：次年度の青少年委員長として ZOOM でロータリーアクトの総会に出席しました。9 月 12 日の海岸清掃には「一身上の理由がない限り」？参加するようにとの指示でした。

鈴木啓志さん：滝先生 1 回目のワクチン接種お世話になりました。2 回目もよろしくお願ひします。石君平さん：「一年回顧」の例会、会長・幹事ご苦労さまでした。

鈴木国男さん、江尻寛さん、福田文乃さん、今川隆さん、平野浩司さん、滝徳宗さん

本日計 15,000円

累計 679,500円

【ロータリー財団】

本日計 28,990円

累計 498,387円

【ポリオプラス】

本日計 5,360円

累計 78,512円

【米山記念奨学会】

本日計 33,650円

累計 420,360円